

平成 23 年 6 月 13 日

WG 構成員

鈴木 尊 己

第 5 回情報連携基盤技術 WG への意見

<資料 3 - 2 表 1 番号連携方式検討表>について

WG の中で案 5 は案 3 と同じではないかというご意見がありましたが、案 4 も同様に案 3 と同じではないかと考えます。

共通の ID コードを「番号」を利用する機関又は特定の分野で利用する案となっていますが、従来からの要件で ID コードは情報連携基盤の中だけで利用され、情報保有機関はリンクコードで管理し、セキュリティを確保するという事を考えれば、やはり共通のリンクコードを利用する方が良いのではないかと考えます。

そうすると、案 5 と同じ様な形態となり、結局は案 3 と同様になるという事です。また、案 2 でも暗号鍵を共通にすることで「番号」を利用する機関又は特定の分野を共通のリンクコードで管理することが可能となります。ID コードで管理する事も可能と思われるので、案 2 でも複数バリエーションがあると考えられます。

従って、今回の検討対象となる案はフラット方式を除くと、案 2 の可逆暗号方式と案 3 のコード変換テーブル方式の 2 つではないかと考えます。案 4 と案 5 はその応用なので、方式決定後に「番号」の利用形態と合わせて、必要に応じて検討すれば良いのではないのでしょうか。

以 上